

— 人と自然の調和を目指して —
株式会社 キタコン

所在地：〒036-8051 青森県弘前市大字宮川1丁目1-1
TEL：0172-34-1758
FAX：0172-34-1701
URL：http://www.kitacon.co.jp
役職員：85名
創立：1962年
代表者：代表取締役社長 佐藤 和昭



新社屋全景



弘前公園、岩木山と弘前城



2階執務室



跨道橋点検



みちのくロマン縄文橋



耐震補強工事3D施工計画



高所作業車出前講座



社員旅行(四国)



河川清掃活動



技術発表会

会社概要

株式会社キタコンは1962年、創立者佐藤健一が、人の心を大切に「誠意と和の力」により、社会資本整備を通じて地域づくりに貢献するとの信念のもとに起業しました。

その願いは、社是である『和』と社訓である『創意・協力・健康』に込められております。

地域コンサルタントとしての活躍

弊社は、新規のインフラ整備をはじめ、橋梁等公共物の点検・調査・診断を実施し、維持管理計画の策定により「長寿命化と有効活用」を図り、トータルコストの削減と持続可能な社会の実現に向け尽力しています。

調査・計画・解析・設計から維持管理に至る各段階において地域展開の総合コンサルタントとして、官公庁の良きパートナーとして尽力できるよう、日々研鑽努力しています。

わが社の自慢：「協調と競争」

熟練者から若手新入社員まで一丸となって、お互いに協調しながらも競い合うことで成長する社風を持つ

ています。

「若手指導は相手目線に合わせて行う」が、創立当時より引き繋がれている暗黙の教えです。

その伝統は離職率の低いことが物語っていると自負しています。

また、近年キャリア採用が増加している傾向にあり、おだやかで四季折々のイベントが豊富な弘前市で仕事をしたいというのが一つの動機になっているようです。

さらに新卒採用に関しては、県内の工業高校、高等専門学校、大学からの入社が増えており、地元で寄与し、社会資本整備に関わりたいという使命感にマッチした会社である点が評価されています。

そして地元の強みを生かした総合コンサルとして、災害発生直後の初動から機動的に活動することができるよう、準備には余念がありません。

中長期目標：「提案型のコンサルタントへ」

「地域密着型の業務は地域精度と機動力を有する地元コンサルタントが担当すべきである」という信念を持っています。

加えて、地域に根差しながらも常にアンテナを高くしてイノベーションを進め、「鶏口となるも牛後となるなかれ」の精神で日々切磋琢磨しています。

特に、業務の効率化、次世代へのノウハウ伝承、省人化推進のため、DX・BIM/CIM等と技術レベルの向上には積極的に挑戦し、事業の円滑化、効率的な実施のため、高度かつ付加価値の高い「提案」ができるコンサルタントを目指します。

新社屋建設の経緯

2021年6月から念願の新社屋に移転いたしました。旧社屋は4階建てで耐震性に不安があったこと、各階に現場部門が分かれていたため、相互連携とコミュニケーションが図りづらかった面がありました。

この問題を解消するため、新社屋は2階に調査・計画・解析・設計から維持管理まですべての現場部門を集約し、部門間の横断的な連携で業務の効率化を図ることにしました。

風通しの良いコミュニケーションが取れるワンフロアにしたことで、業務効率の推進につながり、働き方改革

に役立つものと期待しています。

「あずまし」の里弘前

本店を置く弘前市は、全国的に桜まつりを始めとした四季折々のまつりで有名な所です。

「あずまし」の里弘前で社会資本整備の仕事ができる幸せを大切にするとともに、市民の安全安心を守り、発注者の良きパートナーとして信頼が得られるよう、私たちは日々精進していかなければなりません。

60年の歴史を築くことができたのも、先達の先見の明とたゆまぬ努力、そして発注者からの叱咤激励を活かした改善活動があったからだと思うところがあります。

これから100年の節目を目指し、時代に即応した変革を基本に、社会インフラ整備の多面的な要望に応えられるよう社員一同、粉骨砕身の努力をしていく所存です。

※「あずまし」：津軽弁で「居心地がいい」「安心する」「気持ちがいい」という意味です。

文：代表取締役専務 中村 資紀